

くにびき21山歩きの会
会員：21名 代表者：藤原 正親

くにびき21山歩きの会は、会員相互の親睦をはかり自然を楽しみながら、安心・安全な山歩きをすることを目的として結成しました。山行は、月に1回程度として近くの里山を中心に、山頂での抹茶会・ソーメン登山・花見登山(カタクリ・座禅草等)等遊びを中心とした山行を行い、年1回程度北アルプス等遠征登山を行なっています。

園芸21

会員：22名 代表者：福本 彦志

園芸21は、学園で学んだ知識と経験を活かし「地域社会の貢献に寄与する」ことを目的として、平成24年3月に園芸科を卒業した有志により組織したものです。平成25年度は地球温暖化防止の一環として、環境に配慮したグリーンカーテン用のゴーヤの苗を育成し、配布することとし、まつえ環境市民会議の斡旋により5月4日にイオン松江店において900ポットを配布しました。また、古志原公民館に300ポットを、松江市ボランティアセンターに50ポットを提供しました。これとは別に5月19日出雲市のJA出雲ラビタ本店において400ポットを配布しました。

くにびきマジッククラブ
会員：10名 代表者：澄川 克治

マジックを愛する第20期生10名によるクラブです。発足して5年目を迎えます。「お子様からお年寄りの皆様までお楽しみ頂けるマジック!」をキャッチフレーズに掲げて、公民館、幼稚園、高齢者福祉施設及び各地域のクリスマス会、お祭り等に参加させて頂いています。年毎に依頼が増え昨年は約50か所で公演を行いました。また、月2回の定例研修会を行い、内1回はプロの講師を招いてスキルアップに努めています。昨年から、松江市ボランティア連絡協議会の団体会員への登録も行い更に活動の幅を広げています。

くにびきカラオケ慰問隊
会員：9名 代表者：杉野 雅毅

21期卒業の仲間10名が「継続・喜んで頂ける・高齢社会対応とボランティア」を組み合わせた活動で何ができるかを検討した。その結果、老人ホーム・ディサービス等で懐メロ・小学唱歌や演歌などを約1時間「施設・施設利用者」と一体になり、「楽しく愉快地」双方が元気エネルギーをもらいながら取り組んでいます。訪問先は、人脈による紹介でしたが今年5年目で回数を重ねるに従い口コミも増えて最近では松江市を中心としたリピーターが大半です。実演中や懇親会の最中に、利用者が感激して涙を流したり、手を握りながら繰り返してのありがとうや、別れ際に必ずまた来て、と喜ばれるとやって良かったと「充実感・満足感・達成感」で意欲の源になります。

**くにびき学園
 グラウンドゴルフ20期会**

会員：47名 代表者：中井 登代夫

「明るく、元気に、楽しく、皆の笑顔に会いたい」をモットーに毎月3回の練習と月例会を開催しています。それ以外にオールくにびき学園大会、3期交流大会(19期、20期、21期)各地域で開催される大会にも参加して他グループとも交流を深め輪を広げています。冬場は外で出来ないで、1月は出雲大社に参拝して出雲ドーム大会、2月はそば打ち体験を行っています。友達が増え、健康的になった。卒業してからもみんなと顔を合わせたい。生涯スポーツとして今後も楽しく永く続けて行きたいと思えます。

**くにびき学園
 同窓ネットワークのご案内**

くにびき学園同窓ネットワークは「島根県高齢者大学校・シマネスクくにびき学園」の在学学生及び卒業生のサークルが、持ち合わせている知識と技能によって、より広く地域に根差した活動を行うことで地域活性化の一助に貢献することを目指しています。我々の周囲には、言葉では「元気です」と言うものの体力がついていかず、つつい自宅にこもり、人との接触も苦手になり、近隣との交流を敬遠する人も数多く見受けられます。一方、様々な経験に基づき、豊富な知識と技能を持ち合わせた高齢者が、島根県社会福祉協議会の運営するシマネスクくにびき学園で学んでいます。卒業後も新たな仲間を得て、楽しく生きがいのある生活を創出するエネルギーで「生涯現役・地域活動に役立てる」ことを目標にして以下のサークルが活動しています。ぜひ、内容を確認いただき新たな人生の足跡をつくりましょう。

くにびき学園同窓ネットワーク加入サークル紹介

平成26年3月1日現在の加入サークル

下記サークルに連絡を取りたい方は裏面記載の「くにびき同窓ネット」までご連絡ください。

リバウンドボールクラブ
会員：19名 代表者：杉野 雅毅

卒業生が主体となり25年4月結成したクラブです。元鳥取大学教授と鳥取在住の2人で考案されたバウンズボールと言うニュー・スポーツです。バレーボール大の柔らかい専用ボールを使用して5m×6mのコートを使い双方3名編成で3セットマッチの「誰でも簡単に手軽に」楽しめるスポーツです。ルールは簡単で、手の平のみを使いワンバウンドで双方が相手コートに打ち込み得点を重ねる球技です(70歳以上はツウバウンドOK)。練習はいきいきプラザの体育館を利用して毎月3回程度・1時間～2時間程度汗を流しています。今後は地域活動として、また小学校の課外活動として子供同士・親と子・親同士のコミュニケーションスポーツなども夢に描いています。

風土記の丘(詩吟クラブ)
会員：12名 代表者：森山 豊夫

くにびき学園の一つのクラブとして発足して、現在は全員「清吟堂吟友会」の会員となり活動を続けています。当初はクラブとして7名で活動していましたが、清吟堂松江支部に加入し会員も12名となりました。毎週金曜日午後13:30より講師の先生を招き活動しています。活動時間は4時間ばかりです。目的は会員の健康と楽しく会員相互の親睦を図るためです。また、日本文化の伝統を伝えていくのも大切な活動の一つと考えて、各地域で催されているイベント等に、積極的に参加しています。

くにびきエコクラブ
会員：40名 代表者：山口 信夫

くにびきエコクラブは平成21年、学園20期生を中心として組織した環境市民団体です。近年における地球環境の悪化を憂い、地球温暖化防止などを活動の目的としています。入会は誰でも自由で年会費は2,000円(H26年度からは3,000円)です。活動は、環境の改善を目的とした創作劇の上演、エコ実践講座の開設、ごみ減らしや環境美化、「もったいない運動」の推進などです。全国でも、環境創作劇を一貫して上演し啓発している団体は例がなく、笑いながらエコを理解してもらい、実践者を増やす活動として定評があります。劇の好きな若さあふれるあなたの入会をお待ちしています。

スケッチクラブ(パレット峻)
会員：18名 代表者：曾田 幸子

3名で始まったクラブも4年たった今18名の大所帯になりました。会員は、少々絵心のある方も居ますが、小学校以来初めて筆を持った方が殆どです。講師の野上明博氏の指導で、鉛筆だけのスケッチから、紙いっぱい水を張って色を落としたり、時には外に出て写生をしたりと、色々な手法を教わって楽しい時間を過ごしています。年一回成果発表として市内で展示会を実施しています。

くにびき学園同窓ネットワーク(愛称：くにびき同窓ネット) 加入サークル数：19

〒690-0011松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ島根4階 くにびき学園東部校事務室内
 TEL:0852-61-6001 FAX:0852-61-6002 E-mail Address:qqrt4pq9k@basil.ocn.ne.jp
 開設日：毎週水曜日 開所時間：10時から14時まで 但し、年末年始、お盆及び学園行事日等は休みます。

ホームページ上(島根いきいき広場)で「くにびき学園同窓ネットワーク」及び「各サークル」の活動状況を紹介する予定です。

URL: http://www.shimane-ikiiki.jp/volunteer_groups/857/information



くにびき社文21期会 会員:28名 代表者:高橋 幸孝

社会文化科21期卒業生の会です。私達は学園在学中及び卒業後も古事記編纂1300年を迎えて島根県を盛り上げようと、出雲神話の魅力をアピールする創作神話劇「今よみがえる出雲神話」を学園祭及び神話博おもてなし劇場他、松江市内の施設で上演しました。又、学園で学んだ知識と培った経験をもとに、①地域特産品創出の研究、②風土記の研究と紹介、③紙芝居を通して民話・神話を紹介する、などの地域活動を志向してきました。卒業後もクラス定例会を持続して、情報交換や講師を招いての知識習得など自己研鑽に努めており、今後とも地域に貢献できる活動となるよう更なる取り組みを行いたいと思っています。

陶芸の会 会員:126名 代表者:宮廻 信安

陶芸の会は、くにびき学園陶芸科卒業生で組織する陶芸同好会5団体(いきいき陶芸会・創陶会・陶炎会・陶友会・友和会)と現役の1・2年生の2団体との連合組織です。OB5団体は1・2年生と同じように永岡久嗣先生のご指導を仰ぎながら、学園の陶芸教室を活動場所とし、作陶技術の向上に励んでいます。各団体はそれぞれに作品展を開くほか、くにびき学園学園祭での1・2年生の作品展示に併せて作品を出品しています。また陶芸の会は、お年寄りの方や保育所園児・小中学生を対象とする陶芸教室を開催し、地域のみなさんの陶器作りのお手伝いをしています。会員は、世界にただ一つの湯飲みやお皿を作ろうとがんばるみなさんのお姿に引き込まれ、時間の経つのを忘れるほどです。

くにびき学園川柳OB 会員:13名 代表者:澄川 克治

NHK学園川柳講座専任講師の長谷川博子氏を講師として川柳に親んでいます。まず月例会の内容ですが、名詞・動詞を課題とした各2句と自由課題1句について会員が交代で選者として優劣を決める披講をはじめ、講師が決めた課題をその場で詠み、各人が良いと評価した5句を選んで投票を行い最多得票者に博子杯(トロフィー)を授与する互選、そして会員の句に対する講師の講評及び指導等であります。また、時には景勝地等を散策して川柳を詠み吟行という時間も楽しんでいます。会員の作品は毎月1回山陰中央新報社「私の作品欄」に掲載されますのでご覧頂いたら嬉しく思います。

くにびき料理クラブ21 会員:23名 代表者:村田 三郎

健康的でおいしい食生活の向上を図り、自分と家族そして周囲の人々の健康増進に役立つのが目的です。会員は男性16名と、女性7名で毎月料理講習会を開いています。講師の飯塚生美子先生は、若くて明るくて優しく、質問には何でも答えてもらえるスーパーな先生です。料理のコツや裏技もふんだんに教わり、その度毎に目からウロコです。月例会はいつも皆がなんだかんだと大騒ぎしながら楽しんでます。皆で作った料理を一緒に食べるおいしさはまた格別です。いつも先生には、材料、調味料の一切を準備頂いていて会員一同が厚く厚く感謝しているところです。

紙芝居グループ(だんだん) 会員:8名 代表者:中尾 元

社会文化科21期の卒業生有志で構成するグループです。学園のカリキュラムで地域貢献活動の実習をしたのがキッカケで、卒業後も松江市内の高齢者介護施設や保育所、自治会集會などを訪問して紙芝居上演を続けています。社会文化科では郷土「出雲地域」の歴史や文化について学び、その知識を何らかの形で社会に還元することが望まれましたので、私たちの紙芝居の基本テーマは、「出雲地域の民話や神話を語り伝えてゆく」ですが、訪問先に合わせて他の分野も取り入れています。まだ拙い話術ですが、経験を重ねて聞き手に楽しんでもらえるよう努力して行きますので、「お茶のひと時の楽しみ」など気軽にお呼びください。

くにびき学園楽川クラブ 会員:20名 代表者:長谷川 博子

生活を明るく愉快地に味わい深いものと日常生活や社会の出来事に目を向け、会長である長谷川博子を講師に川柳を楽しんでいます。1年を通じて月例会を開き予め会員が提出した2課題各3句と自由課題3句の計9句を講師が一句毎に講評を行います。いつもわいわいがやがや、脱線続きで笑いの絶えない月例会になっています。季節、季節には県内外のあちこちにバスで小旅行を楽しみながら作句を行う吟行に出かけます。これも会員の大きな楽しみになっています。会員の作品は山陰中央新報社「私の作品欄」にも掲載して頂いています。

くにびき健福21 会員:21名 代表者:仙石 晃

「くにびき健福21」は在学中に学んで得た知識や技術を活かしながら卒業後も引き続き地域社会の担い手として持続的に活動することを目的とし健康福祉科21期生の卒業生で組織したグループです。私たちは例会を毎月一回開催し地域貢献活動についての計画づくりや、さらなる幅広い知識を得るため講師先生を招いて各種学習を続けています。また、デイサービスなど施設訪問の前には連日に亘って練習を重ね慰問先では銭太鼓、踊り、健康体操など入所者の皆さんと一緒に言ったり、お茶を飲みながら話し合い語り合うことで、つたない発表でも喜んでもらい、中には涙を流して喜んでいただいています。今後でもできる限りの活動を続けたいと意気込んでいます。

21期くにびきひまわり会 会員:17名 代表者:杉野 雅毅

21期卒業生で気心の知り合った仲間が「健康・交流・知識習得」をキーワードに「2人1組でローテーション」を組み、毎月1回の行事担当幹事となり「美味しいもの食事会とか、庭園・名所旧跡巡り、人命緊急蘇生法の体験や著名人の講演を聞いたり、健康維持のボーリング」などを楽しんでいます。今後は1泊の小旅行なども視野にいられています。何をしないといけないという固定概念にとらわれず、夢を抱きながら仲間が「気楽に・気軽に楽しく」をモットーに取り組んでいます。当番の様々なユニークなアイデアや企画を通じた一体活動を通して、感動・感激を体感し楽しんでいます。

くにびき学園 社交ダンスクラブOB部会A班 会員:13名 代表者:石田 正直

社交ダンスのレッスンを通じて、技量の上達を目指すと共にくにびき学園在校生、卒業生グループ会員相互の親睦と交流を深め、心身の健康維持を図ることを目的として活動しており、我々OB部会A班は、在学の2年間、卒業と併せて4~5年の会員で4クラブの中では最古参です。現在は乃木公民館を会場として月4回の練習をしております。JBDFプロダンスインストラクターの大江先生を講師としてタンゴ・ワルツ・ルンバ...指導は受けていますが上達具合といえは?しかし、会員はレッスンが楽しみで、少しでも上手にダンスが踊れて学園祭の発表会、4同好会のミニパーティ、各地域で開催されるイベントへ元気で楽しく踊ることをモットーに活動しています。

ハンドベルの会 会員:12名 代表者:曾田 満子

くにびき学園18期のメンバーが卒業間際に立ち上げたサークルで、結成5年目を迎えました。卒業後は川津公民館で月2回の練習をし、年に数回、福祉施設などを訪問して演奏をしています。クリスマスの季節にはオファーが多く嬉しい悲鳴を上げたこともありましたが、レパートリーは「四季の歌」や「ふるさと」など主に唱歌ですが「花は咲く」など新しい曲も取り入れています。できるだけ訪問時期に合う曲を演奏できるように持ち歌を増やして行っています。まだまだ拙い演奏ですが、訪問先の皆さんが喜んでくださることが嬉しく、元気を頂いて練習に励んでいます。